



中丹高次脳機能障害者と家族の会

## “さくらの会”便り

No96号 2015.12.12

発行責任者  
会長 粟野勝彦  
編集責任者  
世話役代表 上原 栄  
TEL.0773-22-7859

—リラックスできて、はげまし合うところ、勇気を与えられるところ—



# 「皆さんの声を聴くために頑張っていく！」

懇談会で綾部市長が

10月26日（月）午後2時半から綾部市保健福祉センターにおいて、綾部市山崎善也市長との懇談会が行われました。

参加者は山崎善也市長、四方福祉保健部長、等7名。「会」からは粟野勝彦会長ほか、9名が出席しました。

秘書広報課長の司会で市長の挨拶、さくらの会の自己紹介。 続いて、参加者全員から、「障害者になってからの苦労、辛かったこと」、「家族が介護等で仕事をやめざるを得なくなったこと」、「近所等周囲への配慮」、「病院への要望、京都までの通院が経済的・体力的・精神的にできなくなったこと」等を訴えました

また、これから、北部での医療の充実、専門職のコーディネーターの設置、就労の支援を強く要望しました。これに対して市

長からは「医療・コーディネーターが必要である」「解決できるところはする」「法の改正が必要なものもある。(厚生労働省)など国に対して意見を述べる等前向きに取り組んでいく」「京都北部5市2町などでも機会あるごとに伝えていきたい」などの発言がありました。



### 参加者の声

・市長に意見を聞いて頂いて嬉しかった。舞鶴市・綾部市・福知山市が力を合わせて高次脳機能障害者の問題に取り組んで頂くことに感謝しています。

・市長に直接話をさせてもらい、多少分かってもらった。今回が初めてであり、もう1~2回懇談会をしてほしい。

・気さくに話を聞いて頂いた。今後の市長に期待しています。

・私たちの声を聴いてもらって良かった。私たちもできることは協力したいと思う。

# 前長桶高会

# 社会福祉事業功労者に

11月4日、第38回綾部市社会福祉大会が綾部市「ITビル」で開かれ、高橋 宏 前会長「社会福祉事業功労者」として表彰されました。

平成17年5月20日設立以来、10年間に亘って「さくらの会」会長として会の運営に貢献されたことによるものです。



A portrait of Takanobu Takahashi, an elderly man with glasses and a suit, smiling. A white ribbon is tied around his neck.



11月22日(日曜)、秋の日帰りバス旅行で箕面スパーガーデンに行ってきました。

待ちにまつた当日は晴天に恵まれ、16名（ボランティアさん1名含む）の参加でした。

行きのバスの中では、西村さんのハーモニカにあわせて合唱しました。箕面温泉スパーガーデンに着いて直ぐ、全員の記念写真を撮りました。皆さん笑顔いっぱいでした。会場は多くの人でにぎわっていました。



した。当日は、「パフォーマンスショー」、「突撃よしもと箕面お笑いステージ」があり楽しみました。面白い楽しいと聞いていた大衆演劇は、平日だけの開催で、「今日はなし！」と少し残念な結果でした。

帰りのバスではbingoゲームをし、景品をもらい、楽しく相互交流が出来、楽しい一日となりました。

「観劇が物足りなかつたがさくらの会の大

勢の人が参加できて良かった。」

- ・「大変素晴らしいバスツアーでした。箕面は近くにあり感激でした。」
  - ・「天気も良かった。車椅子の私も参加できて良かった。」
  - ・「有難う。出かけるのが大変でしたが良かった。」

# 第3回サロンさくら ・「新春交流会」

〈日時〉 平成28年2月7日（日）

11時～15時

＜場所＞ 綾部市保障福祉センター 2階

〈ゲスト〉 「民謡 みやび陰」

詳細は次号でお知らせします。

〔編集後記〕